

注入コンビネーション治療による 患者満足度の上げ方

医療法人社団翔友会 品川美容外科
和田 哲行

第106回 日本美容外科学会

アジェンダ

■ 美容動向&アンケート調査

■ 患者満足度を上げる3つの柱

- ・ トータルフェイシャルな提案
- ・ MD-codes™ と複合治療
- ・ 承認品

アジェンダ

■ 美容動向&アンケート調査

□ 患者満足度を上げる3つの柱

- ・ トータルフェイシャルな提案
- ・ MD-codes™ と複合治療
- ・ 承認品

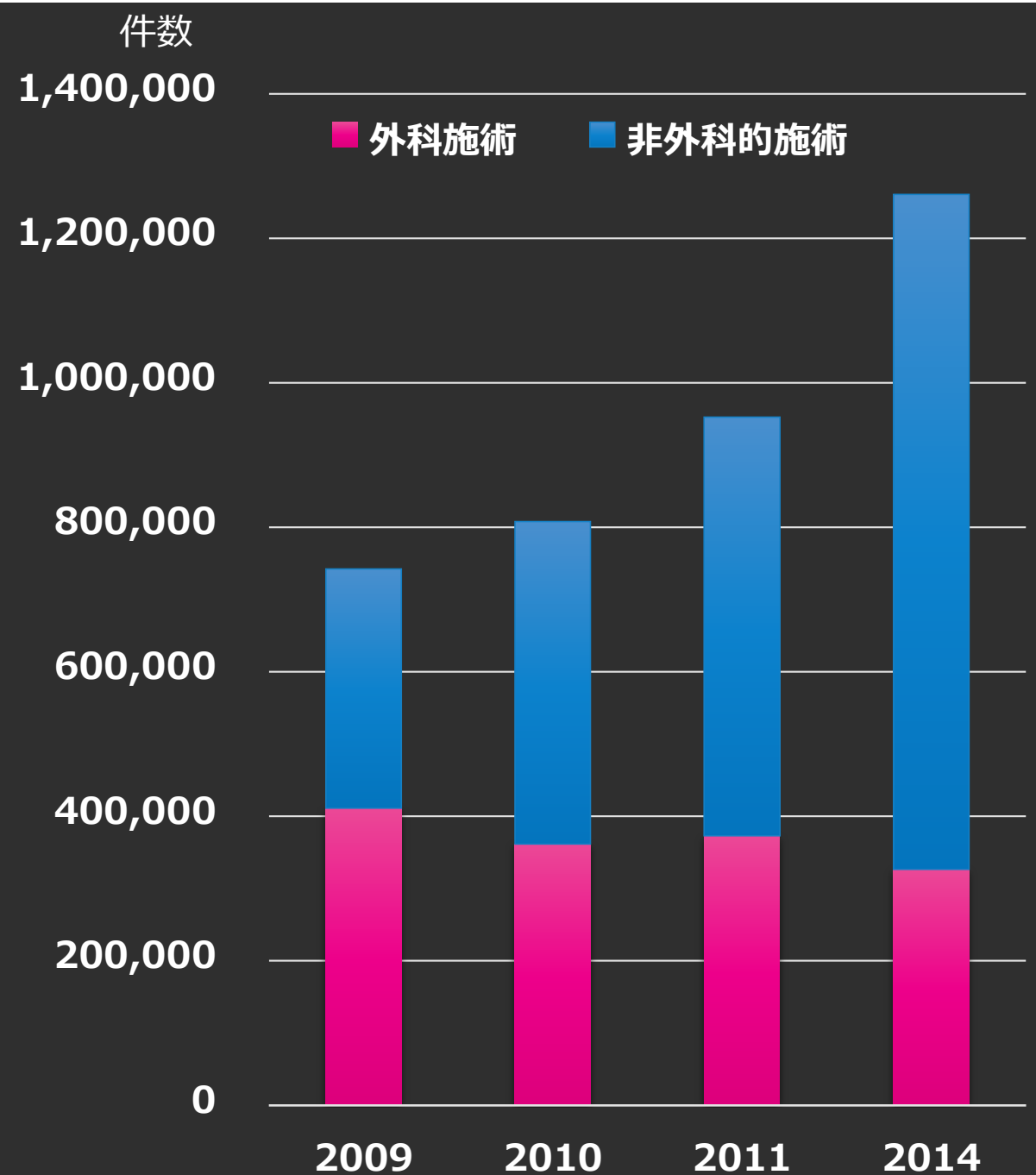
美容医療施術件数推移



近年美容施術件数は、増加傾向



特に非外科的施術件数は増加傾向



参照：2016年ISAPS

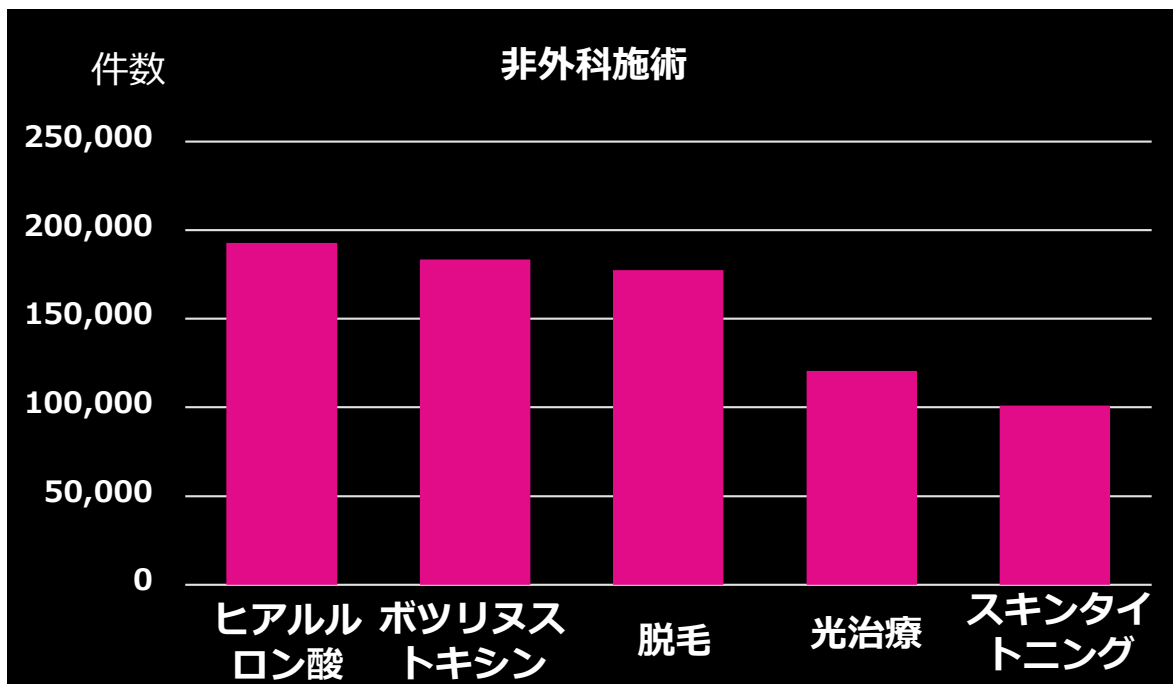
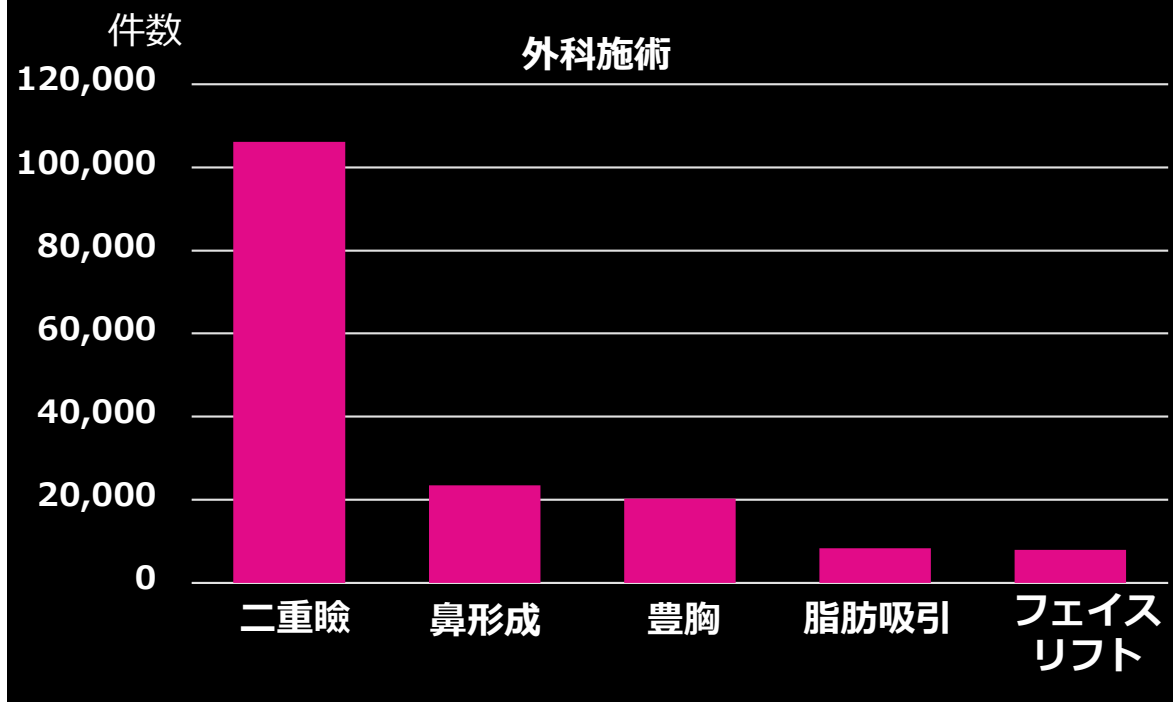
美容医療施術件数推移 内訳（日本）

外科施術

- ・二重瞼（切開法）
- ・鼻形成
- ・豊胸
- ・脂肪吸引
- ・フェイスリフト

非外科施術

- ・ヒアルロン酸
- ・ボツリヌストキシン
- ・脱毛
- ・光治療
- ・スキンタイトニング



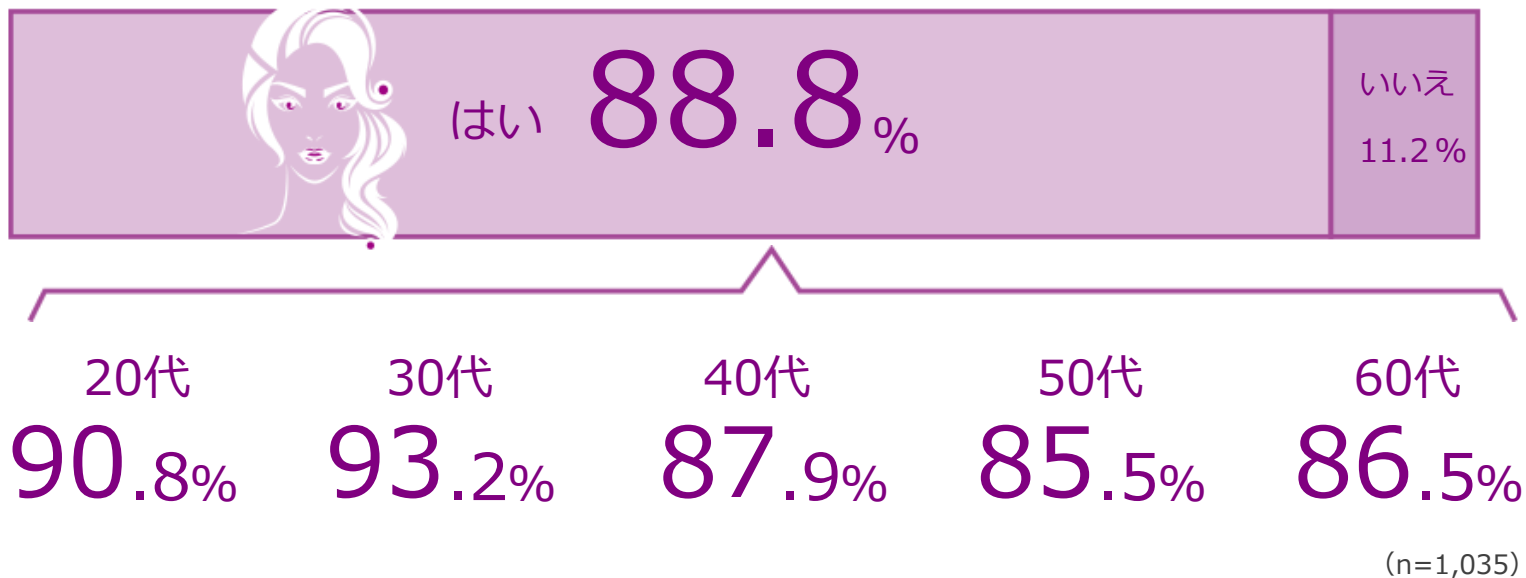
調査概要

- 調査目的： 顔の美容に関する調査
顔の美しさについてどのように認識しているかを確認し、頬・あご・こめかみについて、気づいていないニーズの存在を確認し、それらへの気づきが美しさに対する行動に与える影響を確認する。
- 調査対象： 20-60代女性で、美容クリニックかエステで施術を経験した事がある人、または施術意向がある人
- 調査エリア・方法： 全国インターネットリサーチ
- 調査期間： 2016年11月4日～11月7日
- 有効回答数： 1,035人



美しくありたいと思うことはありますか？

約89%の女性が年齢を重ねても、最高に美しくありたいと思っています。



美しい自分でありたい場面は？

「久々に友人と会う時」「記念写真撮影時」等、**記憶・記録に残る場面**でより美容への意識が高まることが示唆されます。



1位

久しぶりの友人と会うとき



2位

記念写真を撮影するとき

3位 おしゃれなレストラン、お店などに行くとき

4位 女友達との女子会や旅行

5位 同窓会

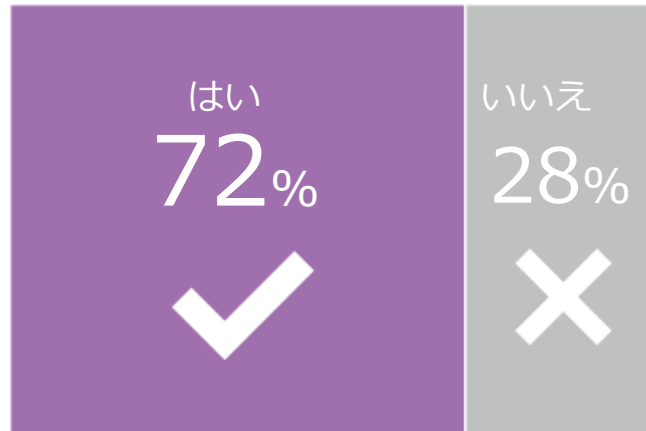
6位 子供や親戚、友人の結婚式

7位 パートナーや配偶者とのデート

悩みを持つ多くの女性がもっと美しくなりたい箇所

7割以上の女性が美容に関するお悩みをお持ちです。

美容に関する悩みを持っている？



(n=10,000)

5割の女性がお悩みの具体的な箇所を「お顔」としています。

- 77% お肌に関する悩み
- 57% 髪・頭皮や体毛に関する悩み
- 47% ボディに関する悩み
- 46% お顔に関する悩み**
- 42% ダイエットに関する悩み
- 42% 歯に関する悩み

(n=7,230)

顔の美のために重点的にケアしている部分

1位
肌

(キメ、毛穴、くすみなど)

2位

ほうれい線

3位

フェイスライン

4位

目の下のくま

5位

目じりのしわ

頬・あご・こめかみに関する印象

頬・あご・こめかみが、フェイスラインや表情の美しさにつながる

知っていた
37.8%

知らなかった
62.2%

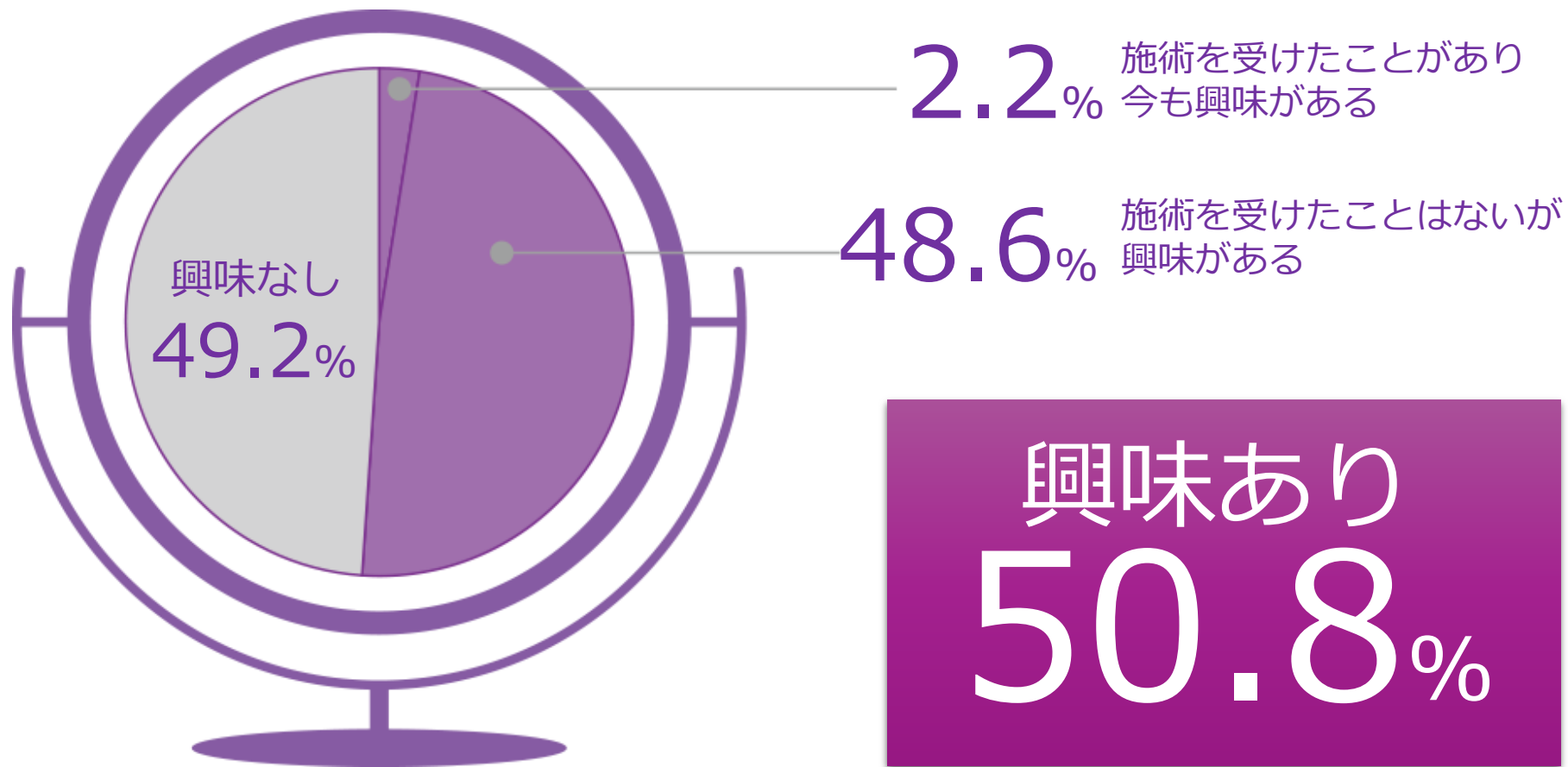
頬やこめかみのくぼみやへこみをなくすことで、お顔の美しいバランスが実現される

知っていた
27.1%

知らなかった
72.9%

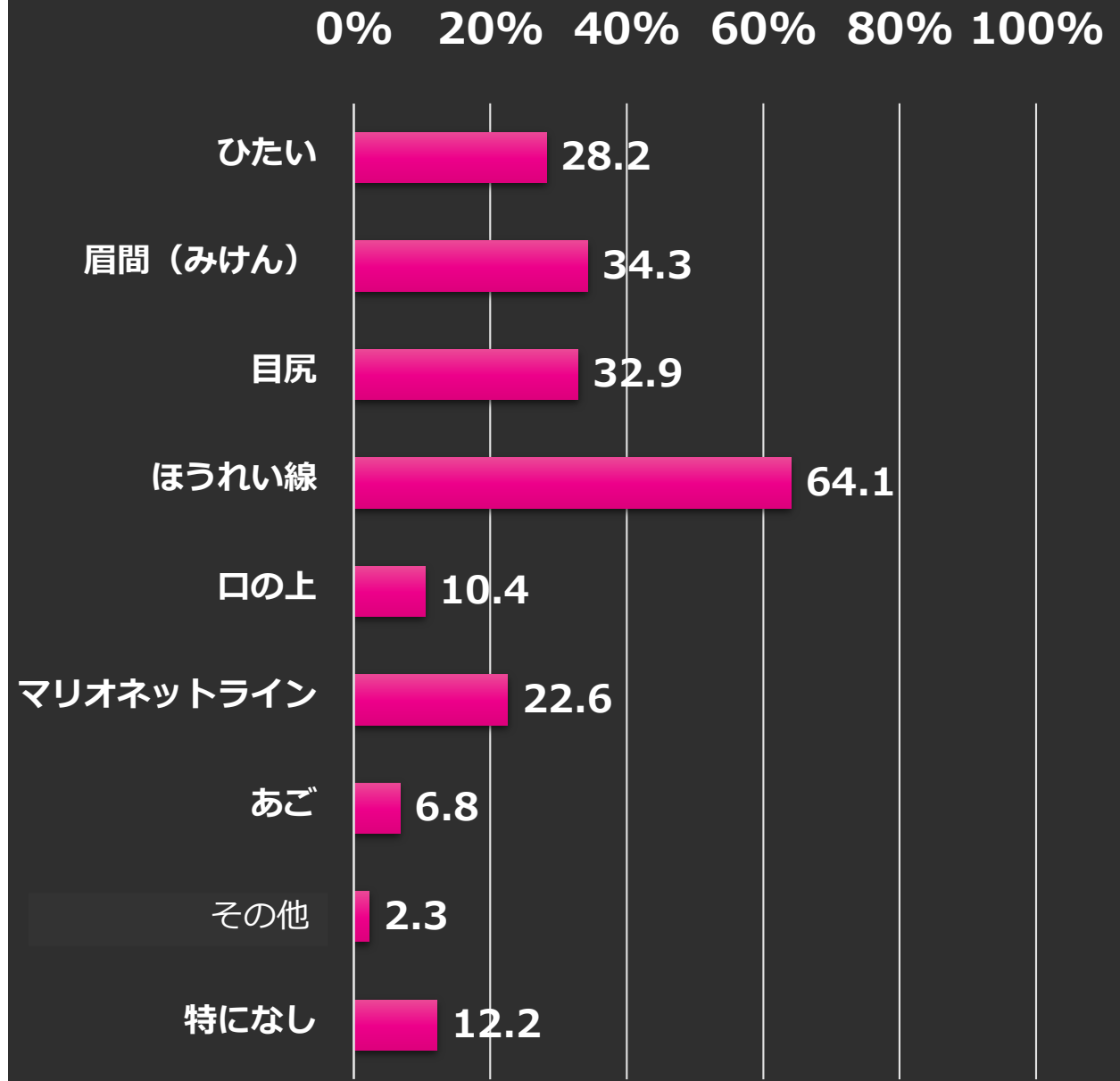
ヒアルロン酸注入への興味

～美容を目的としてヒアルロン酸フィラー治療を受けたいと思いますか？～



お顔のしわで気になるものは？ (複数回答)

- ・上顔面→中顔面にかけて気になっている
- ・下顔面が治療出来る事に気付いていない、患者教育が重要.



2016年11月4日～7日：20-60代女性を対象とした全国インターネットリサーチ
(株式会社マクロミルケアネット)
(n=1,035)

アジェンダ

■ 美容動向&アンケート調査

■ 患者満足度を上げる3つの柱

- ・ トータルフェイシャルな提案
- ・ MD-codes™ と複合治療
- ・ 承認品

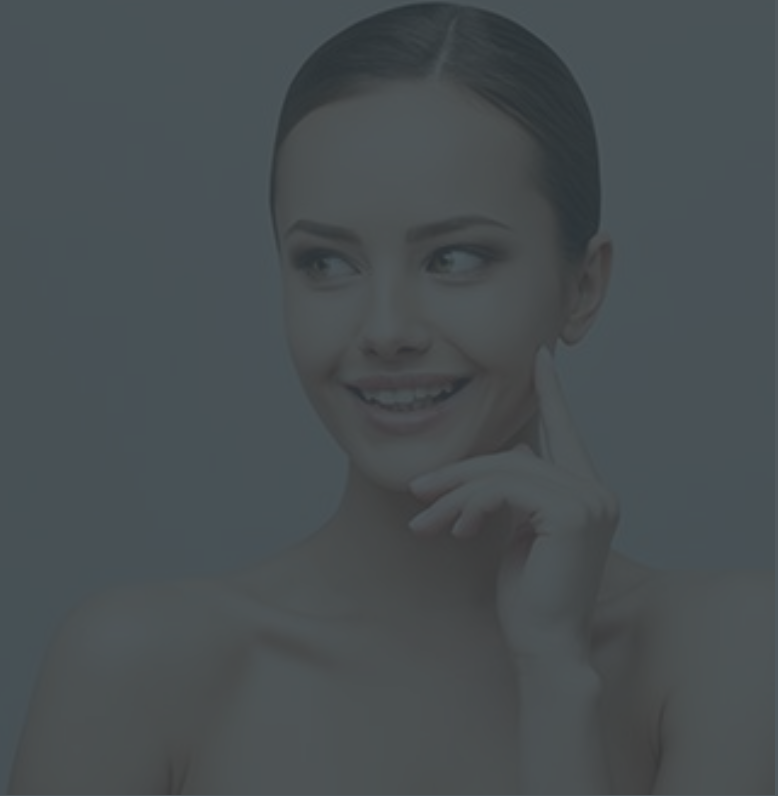
アジェンダ

■ 美容動向&アンケート調査

■ 患者満足度を上げる3つの柱

- ・ トータルフェイシャルな提案
- ・ MD-codes™ と複合治療
- ・ 承認品

MD-codes™による施術



01 解剖学

02 MD-code™

03 複合治療症例

老化とボリュームロス



[35歳]



[45歳]



[55歳]

老化とボリュームロス



[35歳]



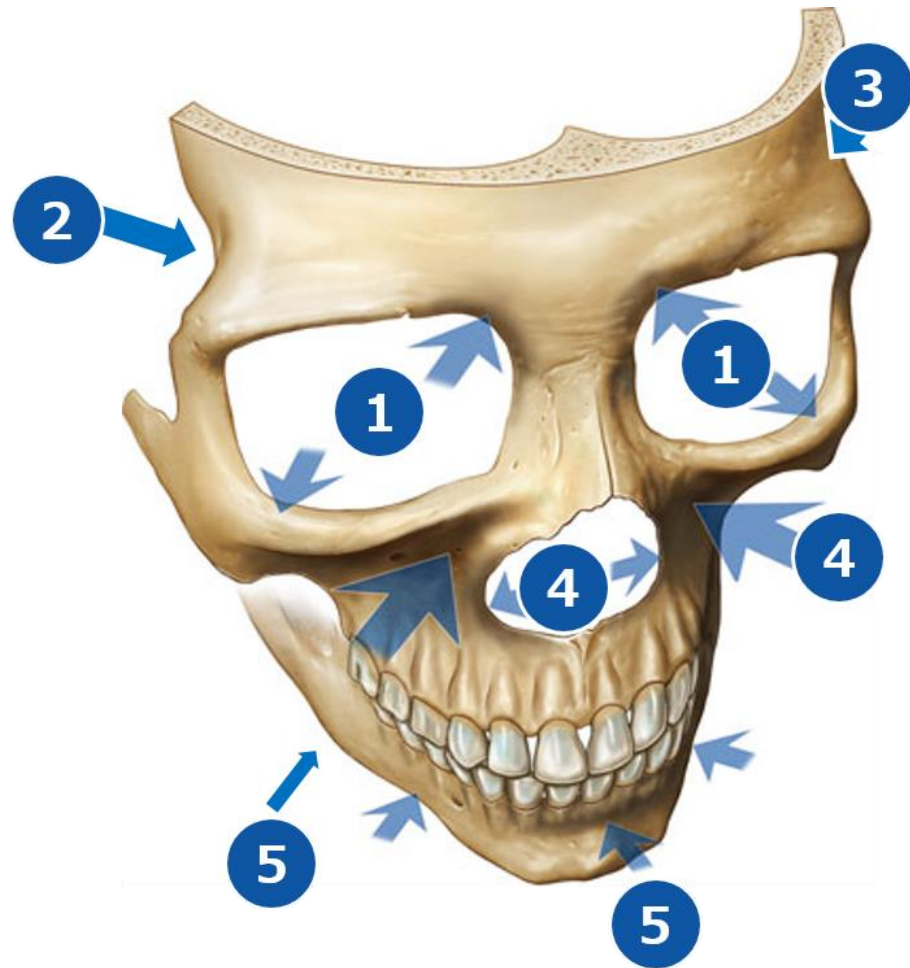
[45歳]



[55歳]

加齢に伴う顔面骨格の損失

30歳以後は、骨の吸収・損失が生成を上回る



①眼窩の拡大

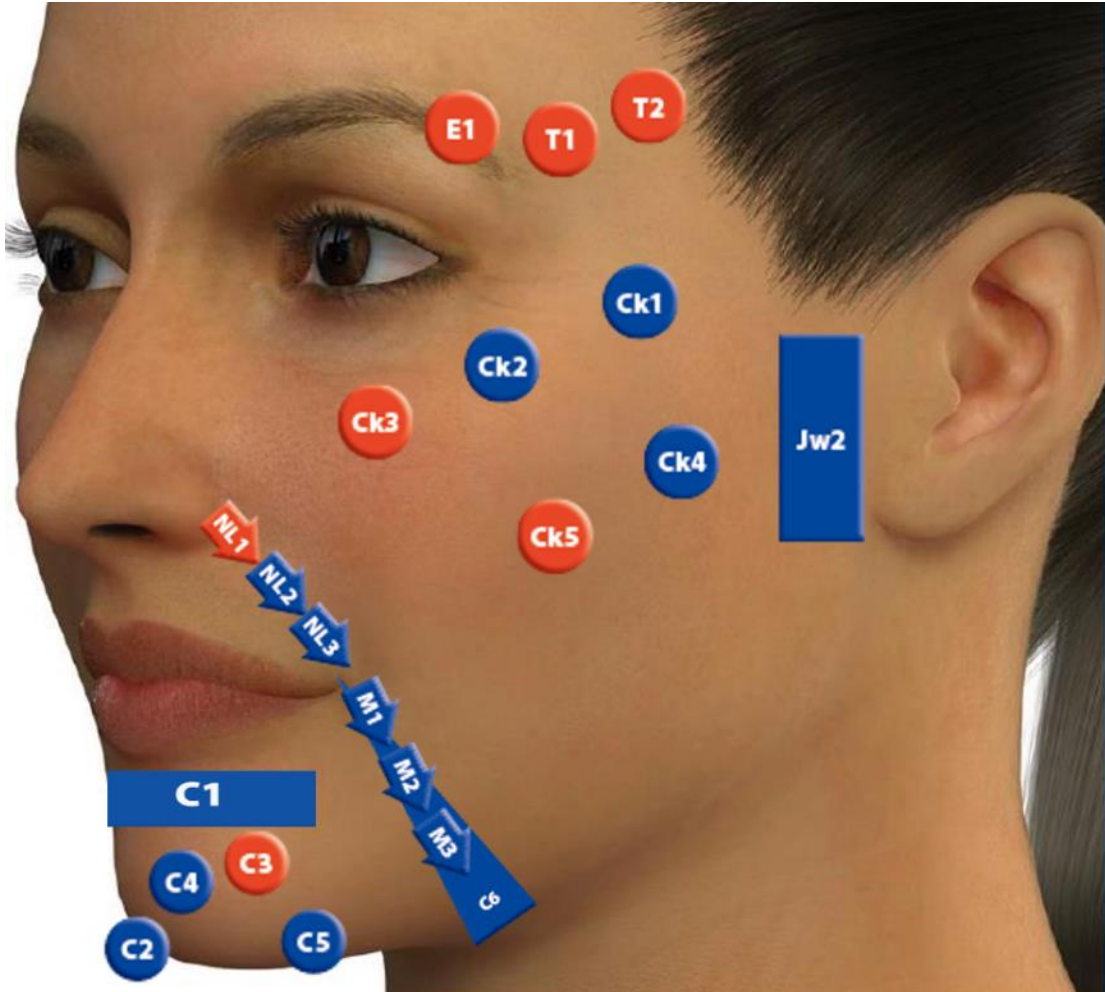
②側頭部の陥凹

③前頭骨の陥凹

④上顎骨の縮小と後退、梨状口の拡大

⑤あごの突起の減少、短縮

MD-codes™



① **Ck codes** (Cheek points)

② **C codes** (Chin codes points)

③ **T codes** (Temple points)

中顔面は老化の徴候が最初に現れる部位のひとつである

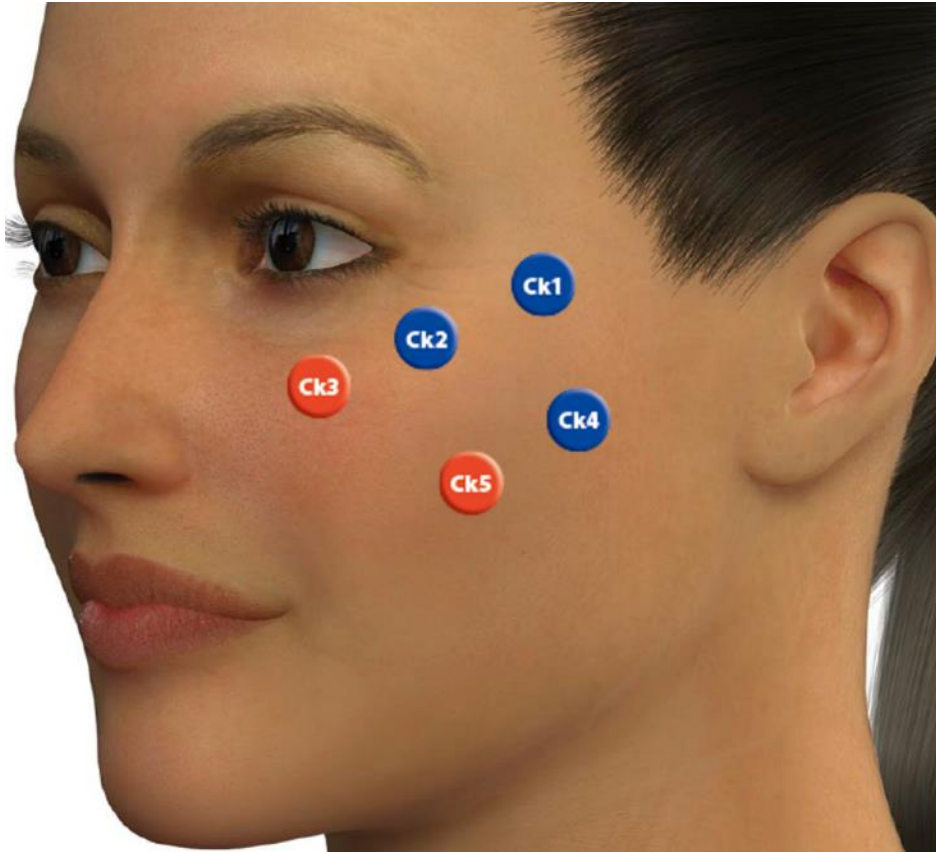


- ✓ 中顔面の老化は、一般的に30代半ばに始まる
- ✓ 通常、最初に気になるのは、下眼瞼とその周囲である
- ✓ 中顔面のほぼ全体が変化し、これは大多数の人にみられる

加齢による中顔面の変化

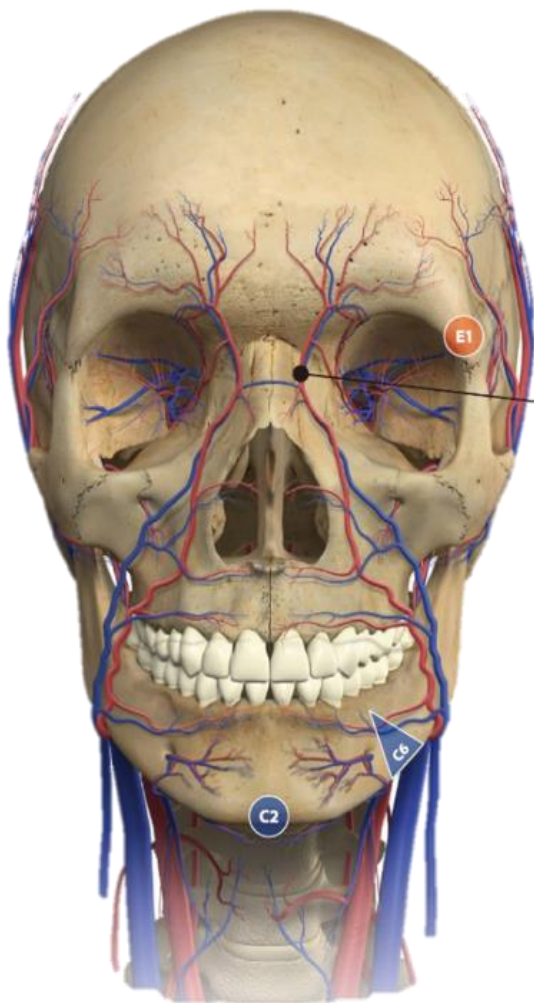
- ✓ 顔面骨リモデリング 骨の減少による形の変化
- ✓ ボリューム減少と軟部組織変性
(下垂の原因となる組織の萎縮につながる)
- ✓ 皮膚の状態、外見の変化

Ck codes (Cheek points)



Code	注入エリア
Ck1	頬骨弓
Ck2	頬骨隆起部
Ck3	頬前内側部
Ck4	頬骨下外側部
Ck5	頬骨下内側部

血管の走行を把握



眼窩下動脈
Supraorbital A.

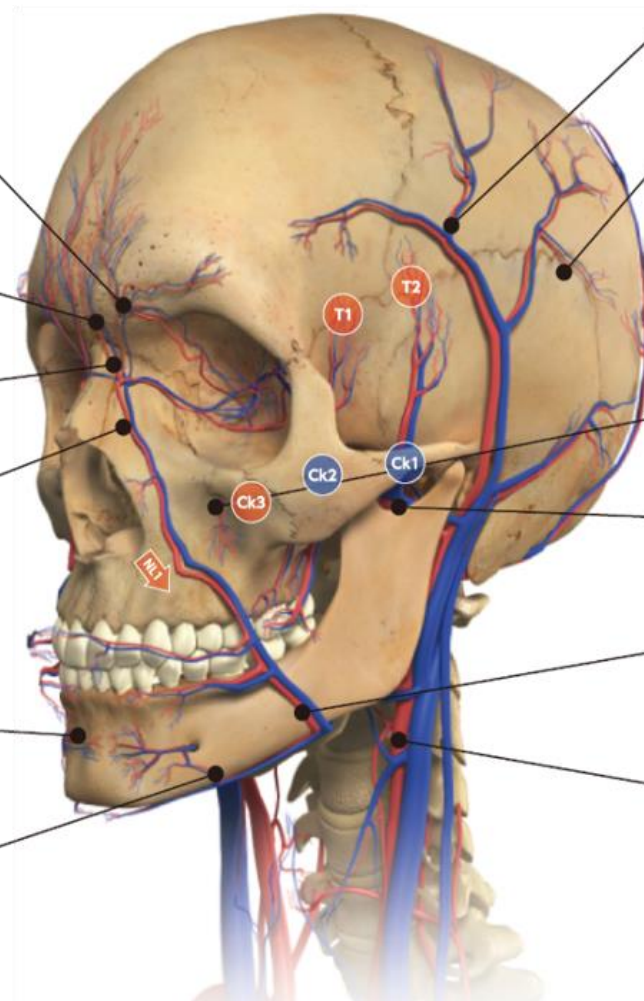
滑車上動脈
Supratrochlear A.

鼻背動脈
Dorsalis nasi A.

眼角動脈
Angular artery

オトガイ動脈
Mental artery

オトガイ下動脈
Submental artery



浅側頭動脈 (前頭枝)
Superficial temporal artery
(frontal branch)

浅側頭動脈 (頭頂枝)
Superficial temporal artery
(parietal branch)

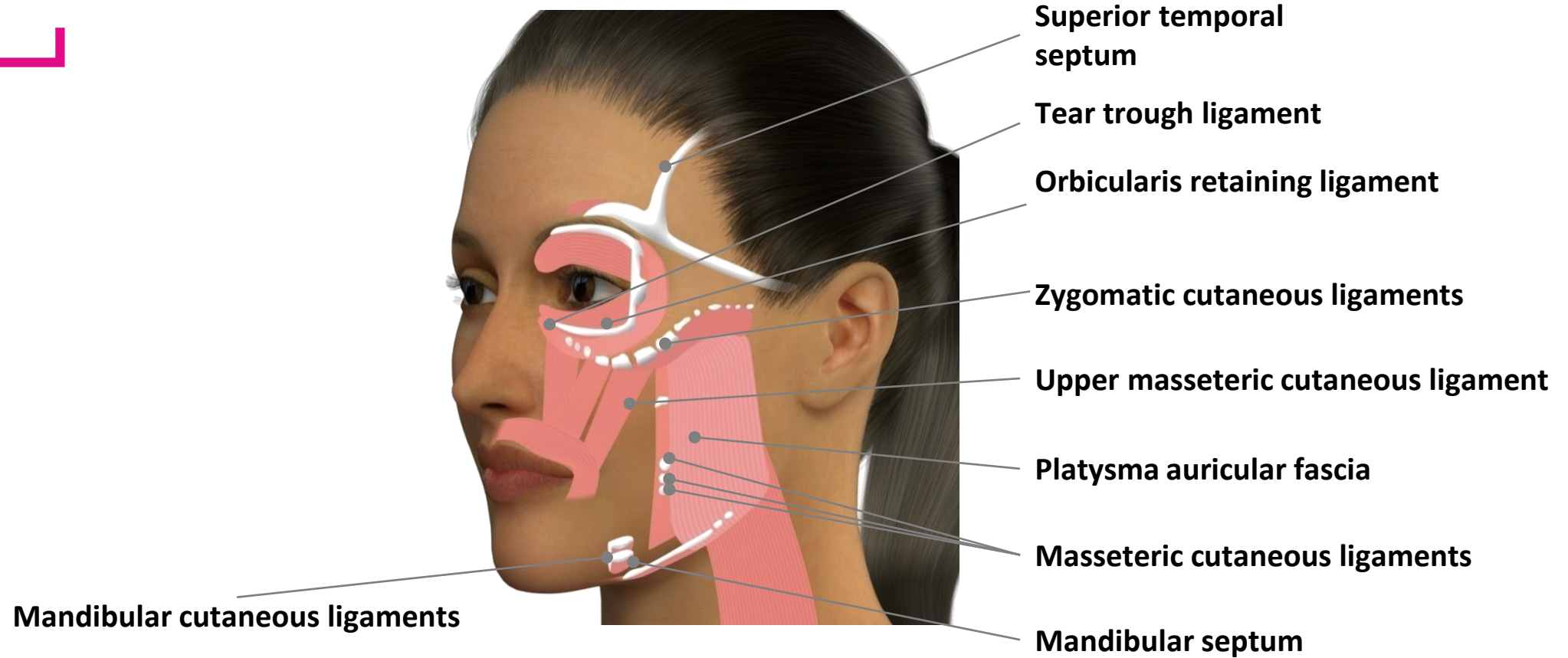
眼窩下動脈
Infraorbital artery

顔面横動脈
Transverse facial artery

顔面動脈
Facial artery

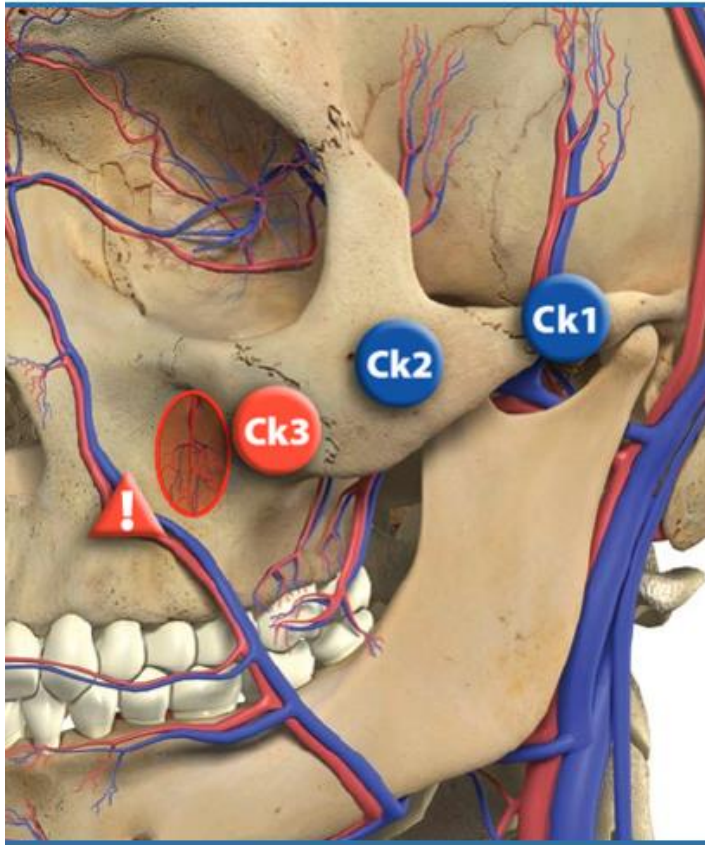
外頸動脈
External carotid artery

顔面の靭帯



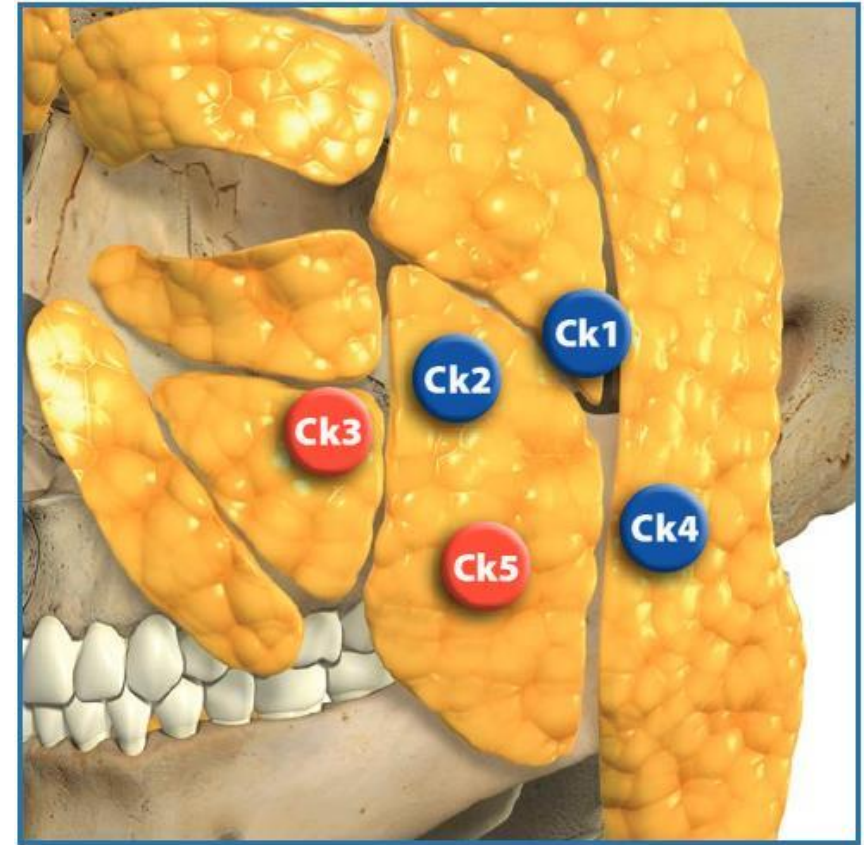
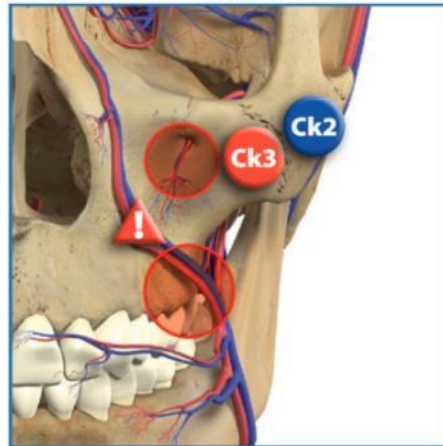
- ✓ 筋膜・腱と異なる強靭な結合組織の短い束
- ✓ 顔面の靭帯は骨膜・深部筋膜に固定され、真皮に至る
- ✓ 重力に対抗して眼部軟組織を支え、正常な解剖学的位置を維持する
- ✓ 靭帯と隔膜は、脂肪組織を分離する

Ck codes (Cheek points)



Ck3/Ck5 注意

Ck3: Be wary of the infraorbital foramen
Ck5: Be wary of the facial artery



下顔面の老化



✓ 老化による下顔面の変化の原因¹

- ・ 皮膚と軟部組織の下垂
- ・ 皮膚の弾性低下
- ・ ボリューム減少
- ・ 骨による支持と突起の喪失

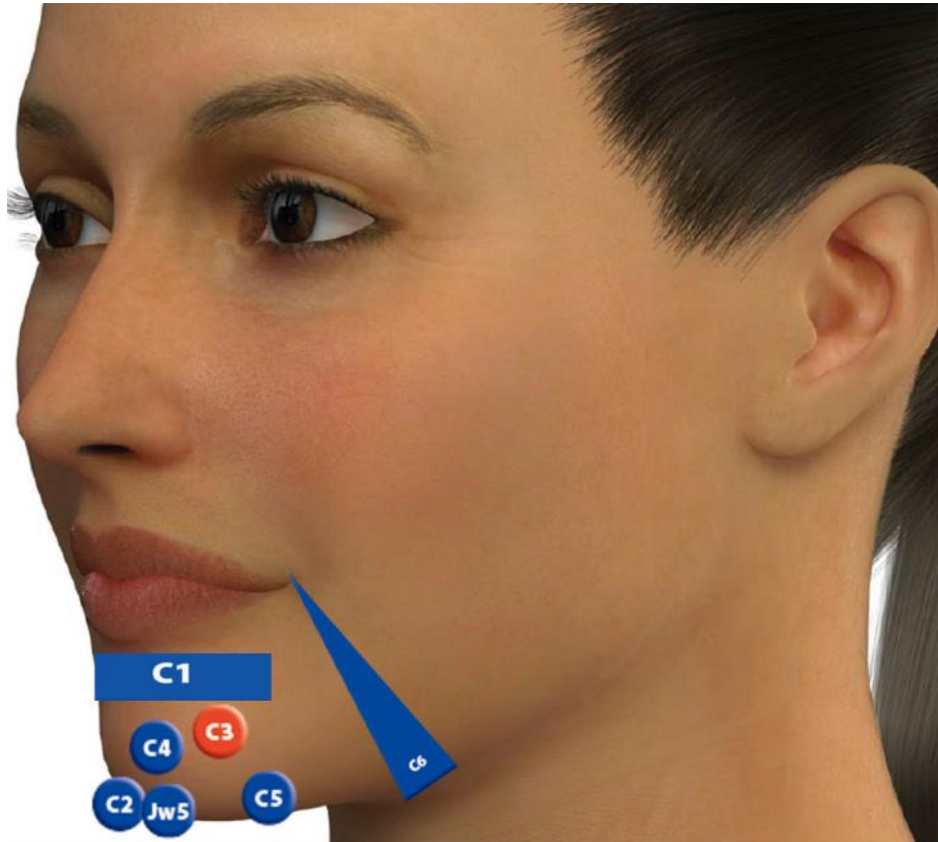
✓ 加齢変化の結果²

- ・ 下顎の輪郭がぼやけ、明確でなくなる
- ・ 顎先に過剰な皮膚がたまる

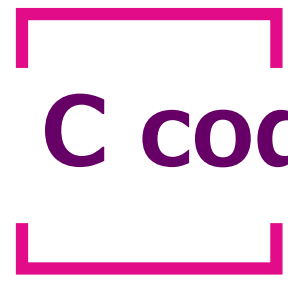
1. Coleman SR et al. *Aesthetic Surg J* 2006; 26: S4-9

2. Shaw RB et al. *Plast Reconstr Surg* 2010; 125: 32-42

C codes (Chin codes points)



Code	注入エリア
C1	オトガイライン
C2	顎先
C3	オトガイ前方
C4	オトガイ下
C5	オトガイ外側下部
C6	フェイスラインの溝



C codes (Chin codes points) Case report



Ck codes + C codes Case report



施術前

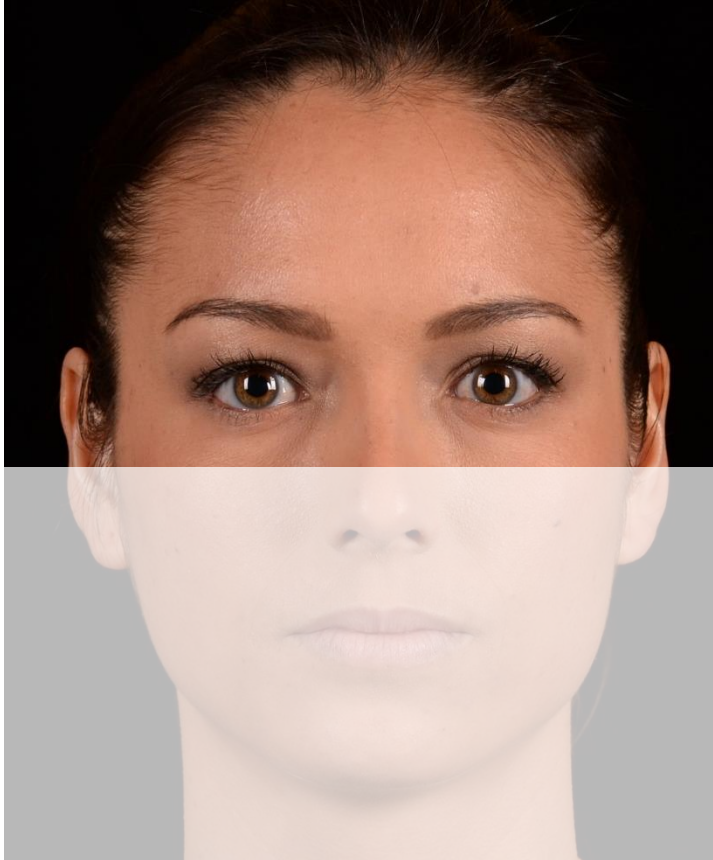


施術後



注入
ポイント

上顔面は顔の印象に大きな影響を与える



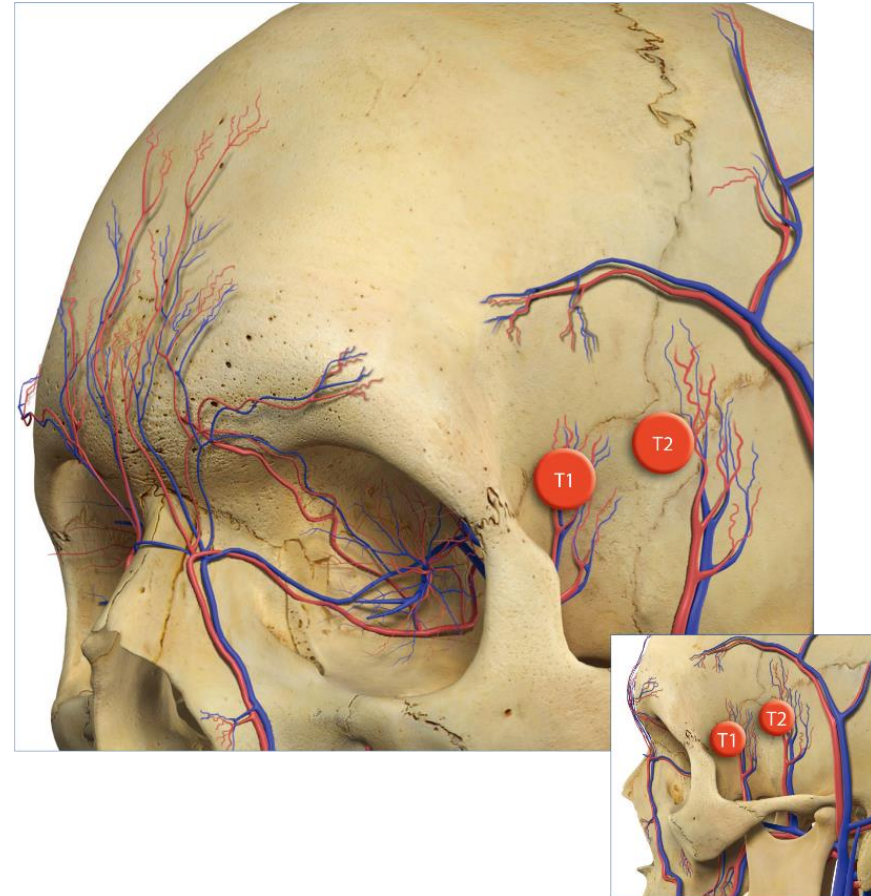
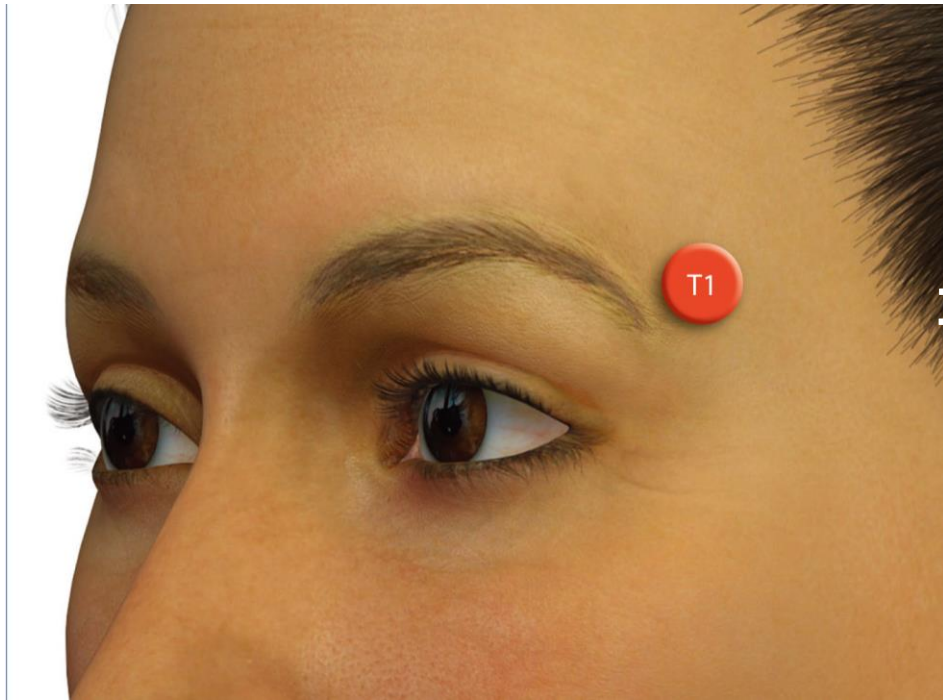
- ✓ 美容的な印象を左右する
- ✓ 見た目年齢を左右する
- ✓ 感情が表れる
- ✓ 最も早く老化徴候を示す

Massry GG et al.(eds.) *Master Techniques in Blepharoplasty and Periorbital Rejuvenation*.
Springer-Verlag New York, 2011; pp.11-24

Perlman SB et al. *PLoS One* 2009; 4(6): e5952

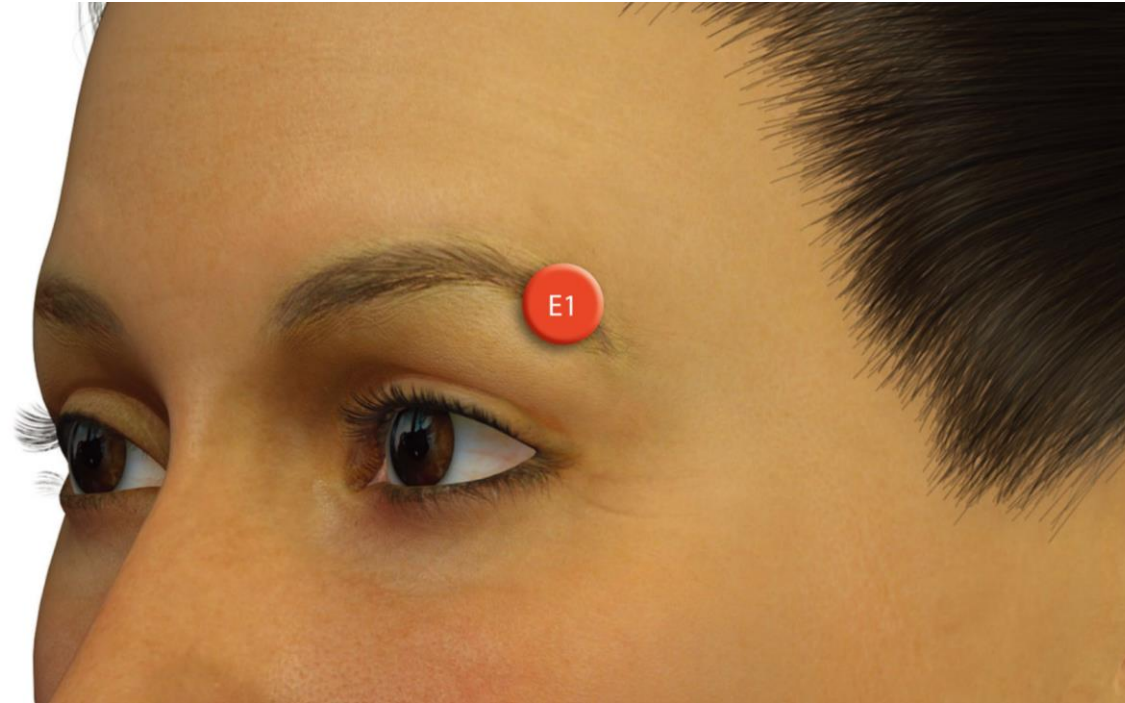
Kranendonk S & Obagi S. *Dermatol Surg* 2007; 33: 572-578

T codes (Temple points)

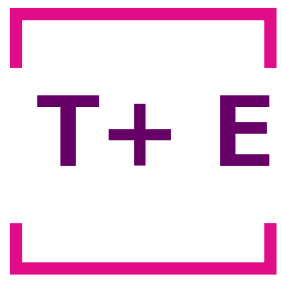


コード	部位	注入層	製品	量(mL)	注入方法
T1	側頭部内側	骨膜上	VOLUMA	0.2-0.5	ボーラス
T2	側頭部外側	骨膜上	VOLUMA	0.3-0.5	ボーラス

E code



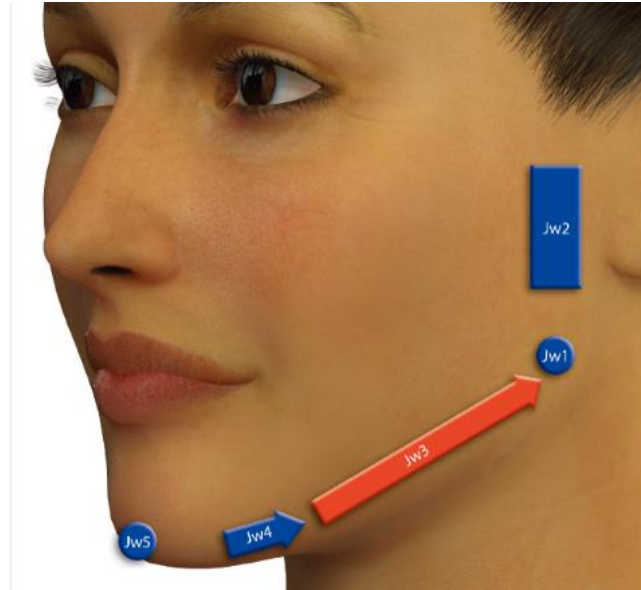
注入層	製品	量(mL)	注入方法
深め	ULTRA/PLUS	0.1-0.2	リニアスレッドイング ポーラス



T+ E codes (Temple points) Case report

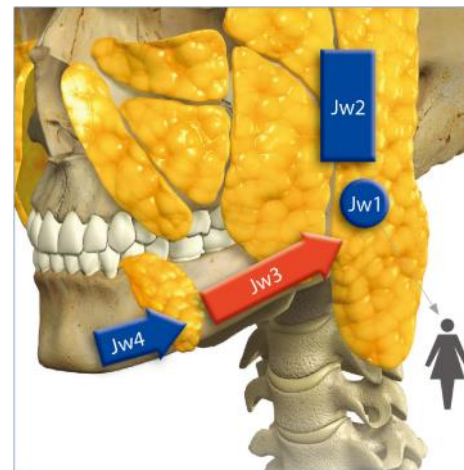
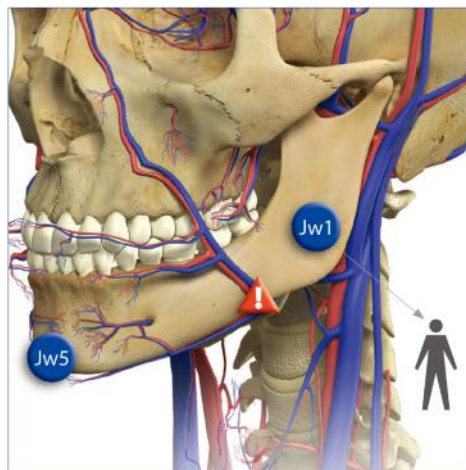


Jw codes (Jaw points)



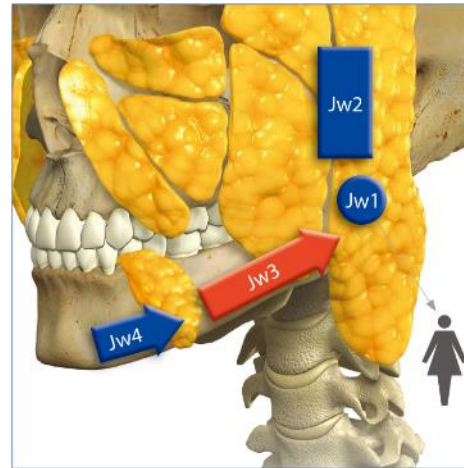
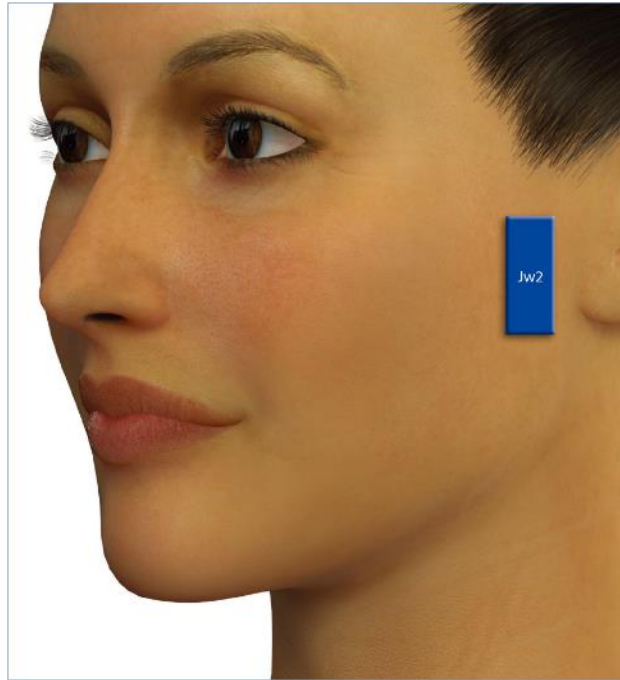
コード	部位	注入層	量(mL) (目安)	注入方法
Jw1	Mandible angle 下顎角	骨膜上	0.2-0.5	ボーラス
		皮下組織 骨膜上	0.2	ボーラス
Jw2	Pre-auricular area 耳前部	皮下組織	0.5-1.0	ボーラス ファニング
Jw3	Mandible body 下顎下縁(フェイスライン)	皮下組織	0.2-0.5	ボーラス リニアスレッディング
Jw4	Prejowl フェイスライン前部の溝	皮下組織	0.2-0.5	ボーラス リニアスレッディング ファニング
Jw5	Chin 顎先	皮下組織	0.2-0.5	ボーラス リニアスレッディング

Jw1



コード	部位	注入層	注入方法	備考	製品	量(mL)(目安)
Jw1	Mandible angle 下顎角	骨膜上	ボーラス	男性推奨	VOLUMA	0.2-0.5
		皮下組織 骨膜上	ボーラス	女性推奨	VOLUMA	0.2

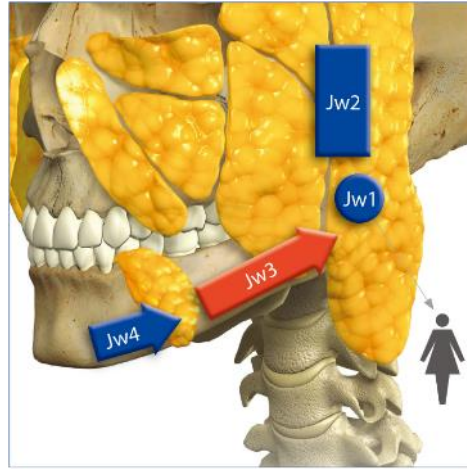
Jw2



!
Jw2 alert
耳下腺に注意

コード	部位	注入層	注入方法	製品	量(mL) (目安)
Jw2	Pre-auricular area 耳前部	皮下組織	ポーラス ファニング	VOLUMA	0.5-1.0

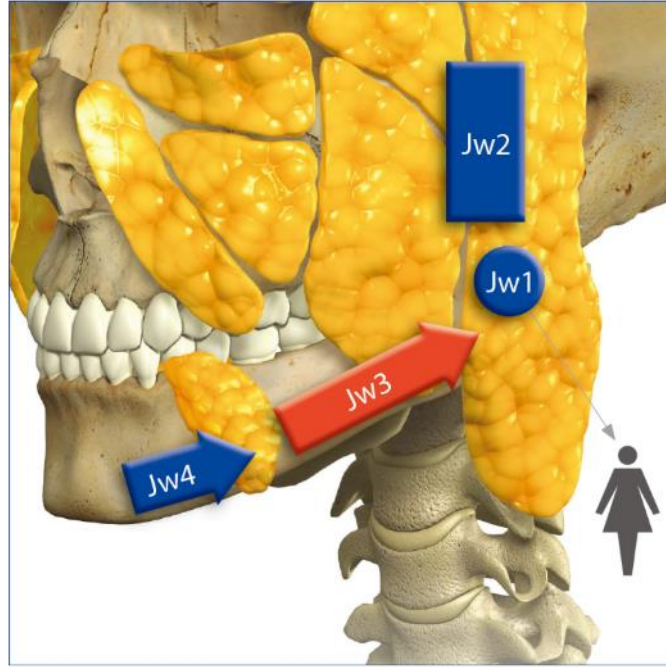
Jw3



!
Jw3 alert
顔面動脈に注意

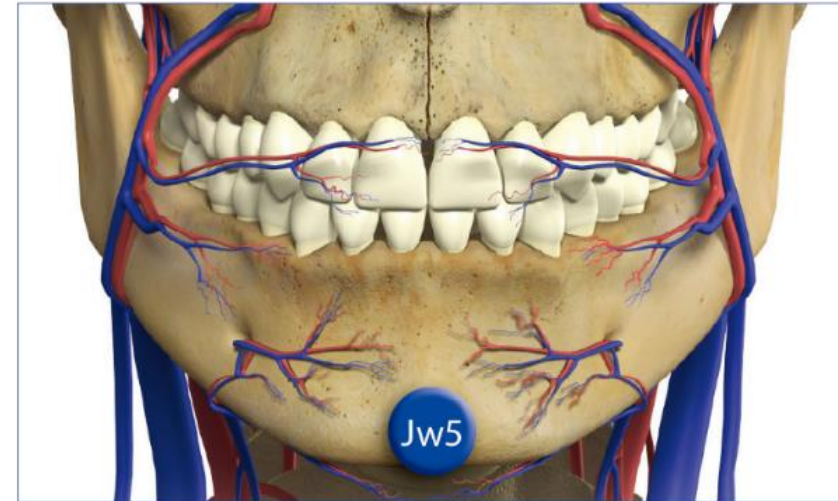
コード	部位	注入層	注入方法	製品	量(mL)(目安)
Jw3	Mandible body 下顎下縁 (フェイスライン)	皮下組織	ボース リニアスレ ディング	VOLUMA	0.2-0.5

Jw4



コード	部位	注入層	注入方法	製品	量(mL) (目安)
Jw4	Prejowl フェイスライン前部の溝	皮下組織	ボラス リニアスレッディング ファニング	VOLUMA	0.2-0.5

Jw5



コード	部位	注入層	注入方法	製品	量(mL) (目安)
Jw5	Chin 顎先	皮下組織	ボーラス リニアスレッディング	VOLUMA	0.2-0.5

当院におけるたるみ治療の考え方

ボリューム
ロスの改善



引っ張る
引き締める



相乗効果

ジュビダームビスタ®
ボリュームマXC®

たるみ治療

症例 ①



症例 ①



症例 ②



症例 ②



症例 ③



施術前



施術後

症例 ③



施術前

品川美容外科



施術後

品川美容外科

症例 ④



症例 ④



症例 ⑤



施術前



施術後

アジェンダ

■ 美容動向&アンケート調査

■ 患者満足度を上げる3つの柱

- ・ トータルフェイシャルな提案
- ・ MD-codes™ と複合治療
- ・ 承認品

承認品のメリット

安心・自信

- 厚生労働省により有効性と安全性が認められた医療用医薬品
- 豊富な臨床成績
- 品質管理および企業としてのバックアップ体制



認められた安全性・有効性



豊富なエビデンス



厳格な品質管理

製剤選択の重要性

ジュビダームビスタ[®] ボリュームマ XC 5つの特性

1	2	3	4	5
				
長期持続性	低吸水性	使用目的に 適したリフトカ	成形性	組織親和性

1. Muhn C et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2012; 5: 147-158. 2. Callan P et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2013; 6: 81-89
3. Bernardin A et al. Presented at Anti-Aging Medicine European Congress(AMEC) 2013. 4. Goodman G et al. Plast Reconstr Surg 2015; 136(5 Suppl): 139S-148S
5. Borrell M et al. J Cosmet Laser Ther 2011; 13: 21-27. 6. Raspaldo H. J Cosmet Laser Ther 2008; 10: 134-142
7. Eccleston D, Murphy DK. Clin Cosmet Investig Dermatol 2012; 5: 167-172

長期持続性

- ✔ ジュビダームビスタ® ボリュームマ XC : 24カ月間の長期にわたり効果を持続^{1,2}

異なる分子量のヒアルロン酸を強固に結合する革新的な技術^{3,4}
少量のヒアルロン酸で長期間効果を維持



ジュビダームビスタ®
ボリュームマ XC

24カ月間^{1,2}

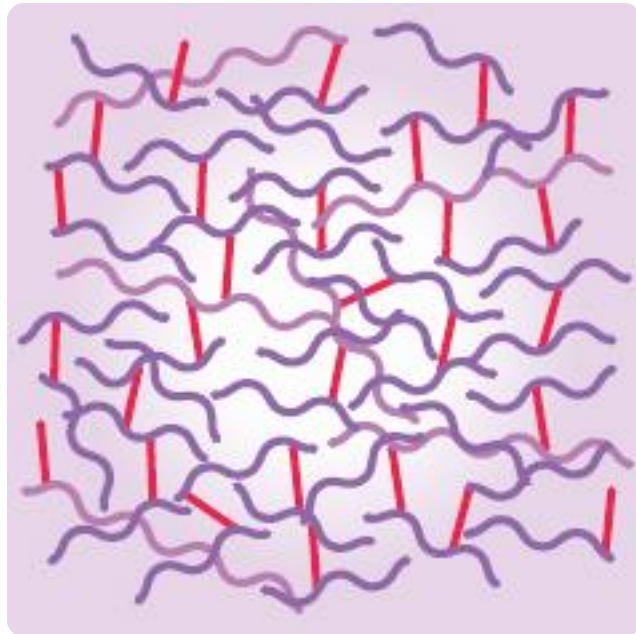
1. Callan P et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2013;6:81-89. 2. Jones D et al. Dermatol Surg 2013; 39(11): 1602-1612

3. Bernardin A et al. Presented at Anti-Aging Medicine European Congress(AMEC) 2013

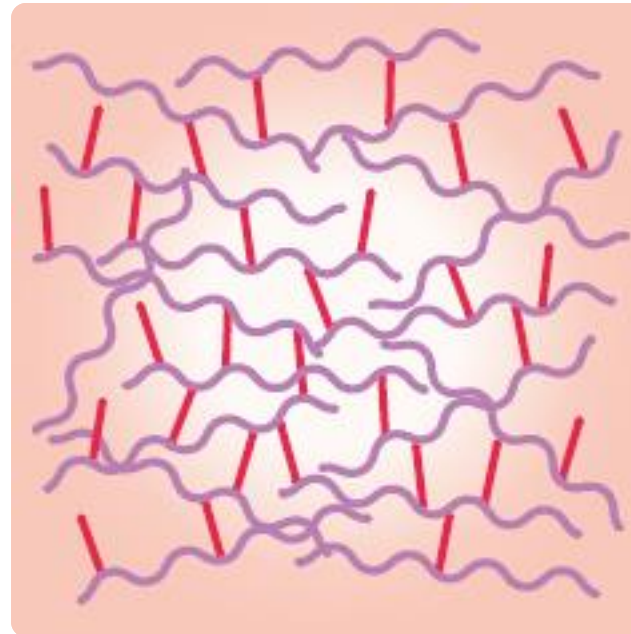
4. Goodman G et al. Plast Reconstr Surg 2015; 136(5 Suppl): 139S-148S

VYCROSS®の新技术

VYCROSS® シリーズ



HYLACROSS™ シリーズ



効率よく架橋結合されより緊密な網目構造

- ✔ 耐分解性の向上、持続期間の延長^{1,2,6,7}
- ✔ 水を取り込みにくく、ゲルの膨潤が低減^{2,3,4}

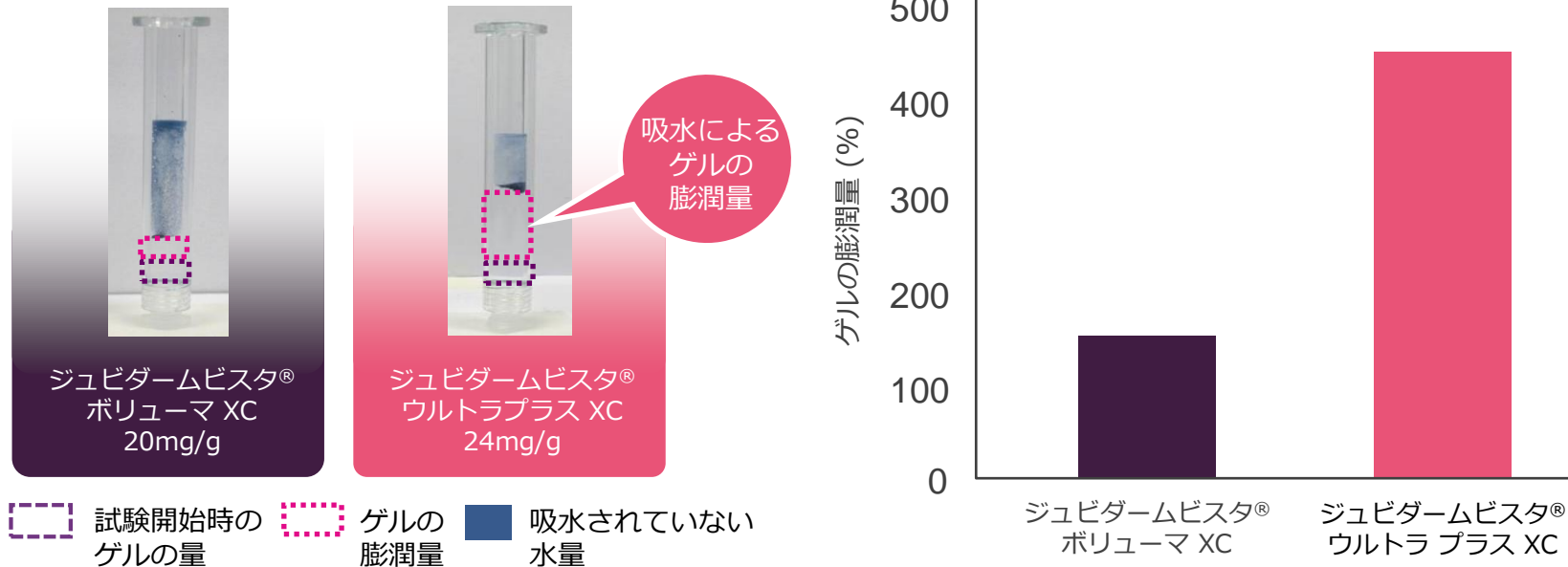
1. Muhn C et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2012; 5: 147-158
2. Callan P et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2013; 6: 81-89
3. Bernardin A et al. Presented at Anti-Aging Medicine European Congress(AMEC) 2013
4. Goodman G et al. Plast Reconstr Surg 2015; 136(5 Suppl): 139S-148S
5. Borrell M et al. J Cosmet Laser Ther 2011; 13: 21-27
6. Raspaldo H. J Cosmet Laser Ther 2008; 10: 134-142
7. Eccleston D, Murphy DK. Clin Cosmet Investig Dermatol 2012; 5: 167-172

低吸水性

低濃度のヒアルロン酸、強固な架橋^{1,2}

低吸水性によりゲル膨潤量が大幅に減少

吸水によるゲルの膨潤量



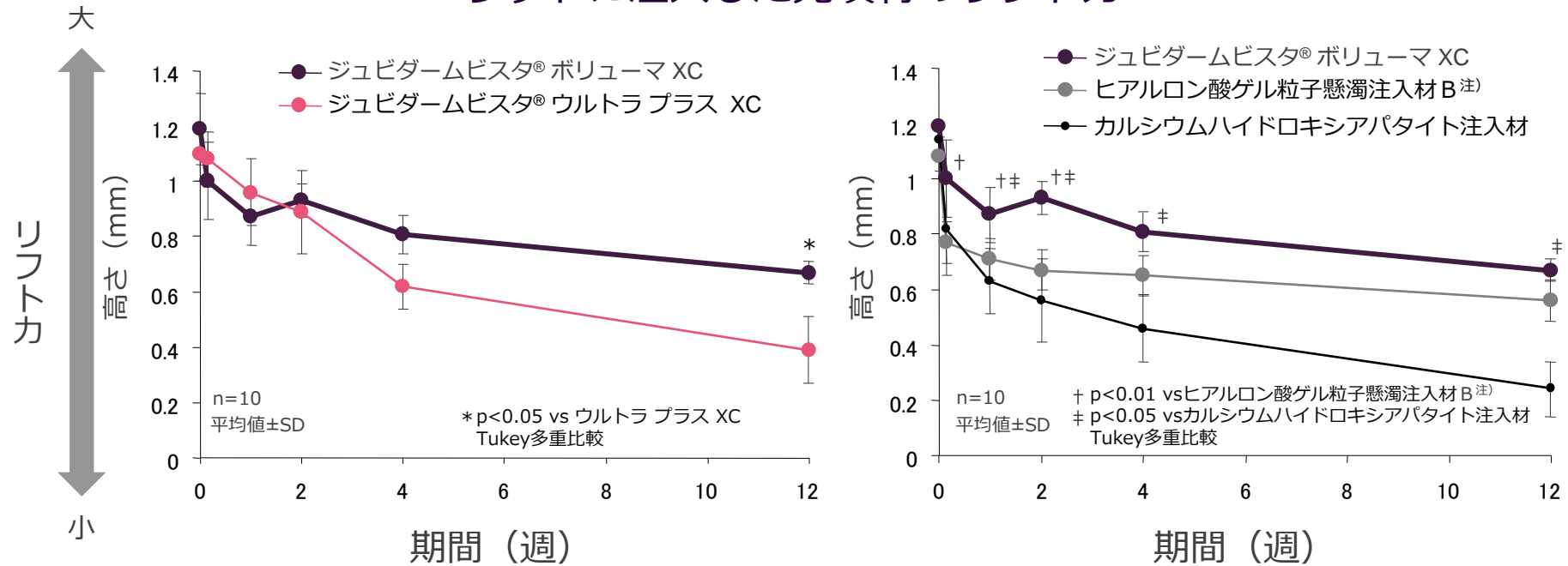
方法

ゲルとリン酸緩衝液（1：7）の混合物を1時間攪拌し、最大吸水量に達した時点でゲルの膨潤量を測定した。3500rpmで10分間遠心分離し、ゲルに吸水されていない水量を10μL青色染色液で染色することで可視化した。

ゲルのリフト力

- ✓ 適度な弾性・凝集性のバランスにより外力が加わっても平坦になりにくく分離しにくい

ラットに注入した充填材のリフト力



方法

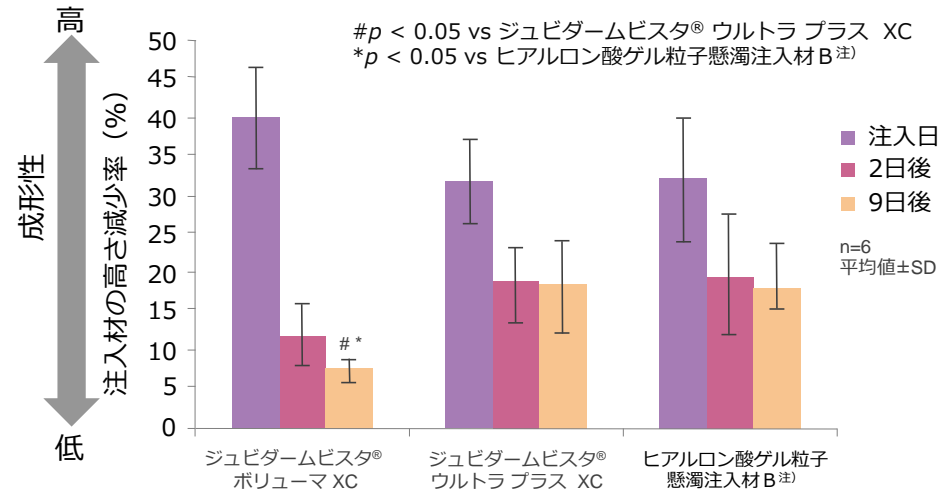
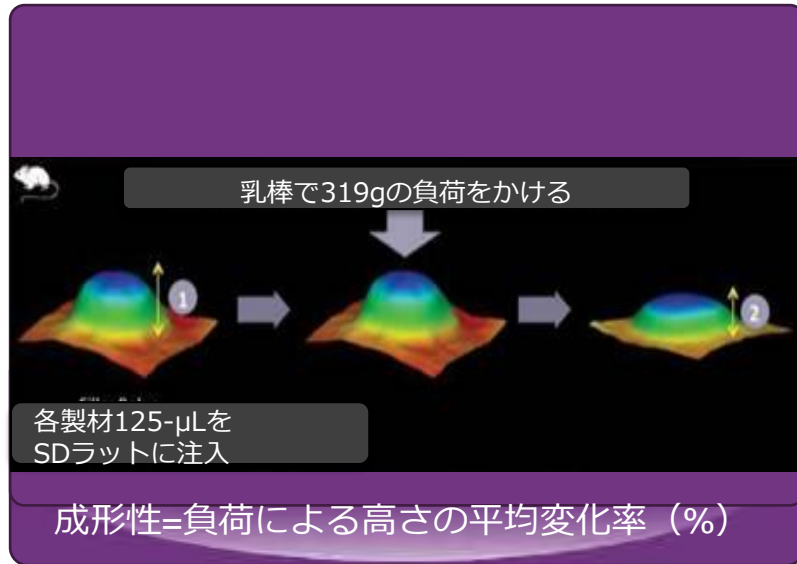
各充填剤を125μLをSDラットに注入した。注入1日後、1週後、2週後、4週後、12週後における充填材の高さをCanfield Vectra® 3D imaging system (Canfield Scientific社) を用いて計測した。

注) 総ヒアルロン酸濃度20mg/mL、ゲル粒子径750~1,000μmのゲル粒子懸濁注入材。ゲル粒子サイジング工程により製造される。

成形性

弾性・凝集性¹のバランスによる

注入直後から成形性がみられ、変形しにくい²⁻⁶



方法

各充填材125μLをSDラットに注入した。注入日、2日後、9日後に乳棒で319 gの負荷をかけた直後の充填材の高さをCanfield Vectra®3D imaging system (Canfield Scientific社) を用いて計測した。

注) 総ヒアルロン酸濃度20mg/mL、ゲル粒子径750~1,000μmのゲル粒子懸濁注入材。ゲル粒子サイジング工程により製造される。

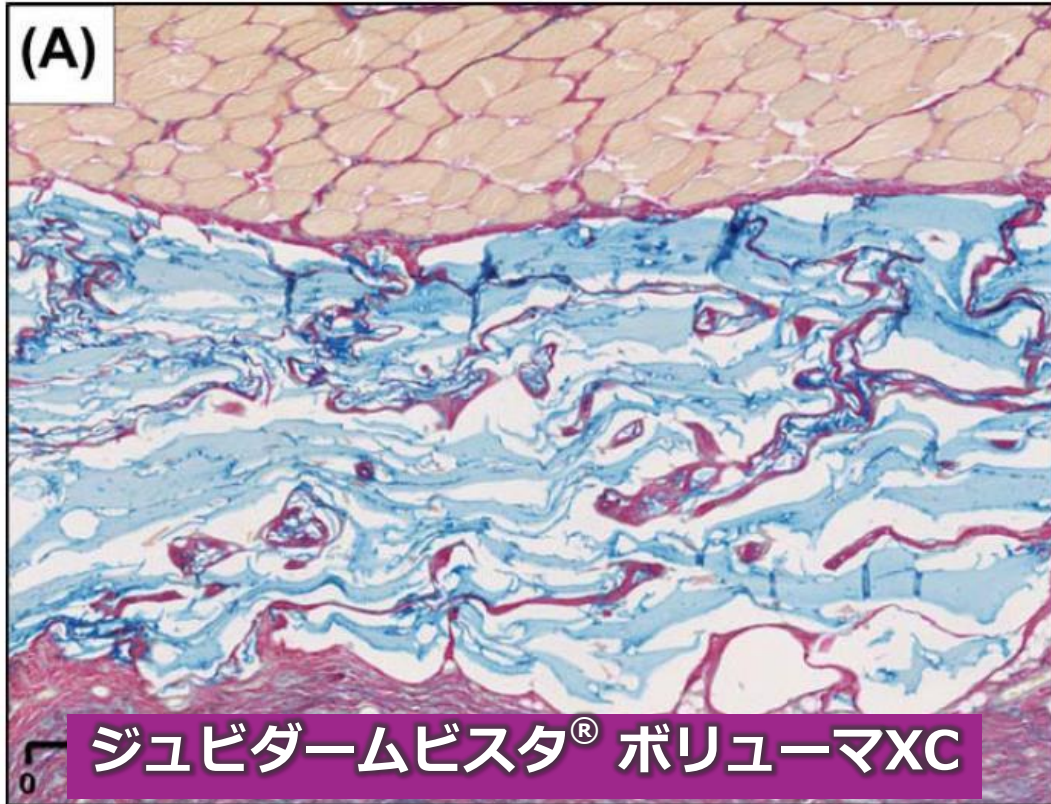
1. Bernardin A et al. Presented at Anti-Aging Medicine European Congress(AMEC) 2013

2. Philipp-Dormston W et al. Presented at International Master Course on Aging Science(IMCAS) 2013

3. Hoffman K et al. BMC Dermatol 2009; 9:9. 4. Cattin TA. J Cosmet Dermatol 2010; 9: 256-259

5. Muhn C et al. Clin Cosmet Investig Dermatol 2012; 5: 147-158. 6. Shumate G et al. Presented at American Society for Dermatologic Surgery(ASDS) 2013

組織親和性



方法

各充填材をSDラットの背部に皮下注射(200 μ L)または脇腹に皮内注射(20 μ L)し、1週後、4週後に組織を観察した。(写真は4週後)